

全国市街地の変遷

昭和の記憶から次代へ

敦賀市は福井県のほぼ中央に位置するみなとまちである。現在は日本原子力発電の敦賀発電所や、日本原子力研究開発機構の高速増殖炉「もんじゅ」関連の記事が掲載されるため、原子力エネルギーのまちとしての印象があるが、古くはみなとまちとして栄えていた。

【江戸時代】 北前船の寄港地として発展し、北国と京都など関西を結ぶ海の玄関口だった。北前船により北海道産の海産物が多くもたらされたことから、地場産業として昆布の加工技術が発達した。現在、大阪や京

【明治・大正期】 1899年に敦賀〜ウラジオストク（ロシア）間に日本海命令航路が開設され、同45年には新橋〜敦賀港間に「欧亜連絡国際列車」の運行が開始された。ウラジオストクにおいて、シベリア鉄道と接続し

【昭和初期】 シベリア鉄道を経て、ナチスドイツに迫害を受けたユダヤ人6000人あまりが敦賀港に上陸し、各国に避難した。この経緯は2015年、「杉原千畝スギハラチウネ」として映画化され、大陸からの玄関口として確固たる地位を築いていた当時の様子がうかがえる。

【昭和後期・現在】 戦後はモーターゼーションの発展により物流の中心が航路・鉄

確立していた。また、1907年に横浜、神戸、関門とともに敦賀港は第1種重要港湾に指定され、09年、22年の工事を経て、現在の敦賀港の原型がつけられた。

【昭和初期】 シベリア鉄道を経て、ナチスドイツに迫害を受けたユダヤ人6000人あまりが敦賀港に上陸し、各国に避難した。この経緯は2015年、「杉原千畝スギハラチウネ」として映画化され、大陸からの玄関口として確固たる地位を築いていた当時の様子がうかがえる。

【昭和後期・現在】 戦後はモーターゼーションの発展により物流の中心が航路・鉄

【昭和後期・現在】 戦後はモーターゼーションの発展により物流の中心が航路・鉄

【昭和後期・現在】 戦後はモーターゼーションの発展により物流の中心が航路・鉄

【昭和後期・現在】 戦後はモーターゼーションの発展により物流の中心が航路・鉄

【昭和後期・現在】 戦後はモーターゼーションの発展により物流の中心が航路・鉄

【昭和後期・現在】 戦後はモーターゼーションの発展により物流の中心が航路・鉄

【昭和後期・現在】 戦後はモーターゼーションの発展により物流の中心が航路・鉄

【昭和後期・現在】 戦後はモーターゼーションの発展により物流の中心が航路・鉄

【昭和後期・現在】 戦後はモーターゼーションの発展により物流の中心が航路・鉄

【昭和後期・現在】 戦後はモーターゼーションの発展により物流の中心が航路・鉄

【昭和後期・現在】 戦後はモーターゼーションの発展により物流の中心が航路・鉄

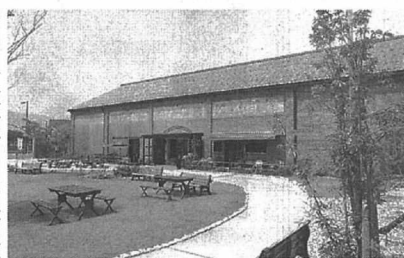
【昭和後期・現在】 戦後はモーターゼーションの発展により物流の中心が航路・鉄

【昭和後期・現在】 戦後はモーターゼーションの発展により物流の中心が航路・鉄

【昭和後期・現在】 戦後はモーターゼーションの発展により物流の中心が航路・鉄

【昭和後期・現在】 戦後はモーターゼーションの発展により物流の中心が航路・鉄

【昭和後期・現在】 戦後はモーターゼーションの発展により物流の中心が航路・鉄



①敦賀赤レンガ倉庫 ②日本海に面した敦賀港

東洋の波止場 雰囲気と建造物整備

景観刷新してけん引役に

道から道路（高速道）へ移ると呼ばれ、歴史的建造物が往年の「みなとまち敦賀」を今に伝えている。

敦賀市は、敦賀港の輝かしい時代の雰囲気や異国情緒を感じ、ノスタルジックな空間と、赤レンガ倉庫などの歴史建造物を有する金ヶ崎地区の融合を目指した「金ヶ崎周辺整備構想」を策定し、14年に「赤レンガ倉庫整備計画」を策定した。

空襲の被害を免れ現存している「敦賀赤レンガ倉庫」は、1905年に米国の石油会社によって建築された石油貯蔵用の倉庫で、オランダ製レンガの使用や、柱の内側に壁を

設け、内壁に柱のない空間になっているのが特徴であり、09年に国の登録有形文化財に登録された。

国内最大級の「ジオラマ館」を備える観光施設と、市民憩いの場を兼ねた「敦賀赤レンガ倉庫」として再整備後、15年にオープンし、周辺観光施設とともにノスタルジックなエリアを形成している。

周辺観光施設として、欧亜連絡国際列車の発着駅を再現した「旧敦賀港駅舎」やユダヤ人難民の敦賀上陸等の資料を展示した「人道の港敦賀ムゼウム」などが立地している。

16年の福井県観光入込客数（推計）によると、敦賀赤レンガ倉庫は開業1年余りにもかかわらず、氣比神宮に続く市内2位を示した。北陸新幹線開業をにらんで国の景観刷新事業のモデル地区の指定を受けた金ヶ崎周辺観光施設の再整備などで、敦賀市観光のけん引施設としての役割が期待される。

（日本不動産研究所福井支所、不動産鑑定士・宮岡広英）

福井県敦賀市・みなとまちの歴史 観光に生かす



④敦賀鉄道資料館



⑤「人道の港敦賀ムゼウム」